



# 観音寺小だより

〈発行〉  
観音寺市立  
観音寺小学校

## 教室の風景

### 百人一首にチャレンジ!

一年

「春過ぎて夏来にけらし 白妙の…」はいつ。「はいつ。」とカルタを取る元気な声が体育館に響き渡ります。十月二十一日に校内百人一首大会が行われました。絨毯に正座し、目の前に並べられた札を真剣なまなざしで見つめる子どもたちの姿。ピンと張り詰めた緊張感さえ感じるほどです。

入学して一ヶ月で百人一首のプリントを手にした一年生。まだ、ひらがなを勉強している一年生にとって「難しそう。できるのかしら」と心配された保護者の方もいたと思います。子どもたちは、意味は分からなくとも、歌を歌うように「ひかりのどけきはるのひにく」と唱えます。休み時間になると「覚えたので、聞いてください。」と担任の所に覚えたばかりの百人一首をうれしそうに暗唱しに来ます。すらすら唱えられなければ、再チャレンジです。

入学して約半年、心も体もたくましく成長した子どもたちは、これからも様々なことに挑戦していきます。

どうぞ、温かく見守ってください。



### 「万引きは絶対にダメ!」

四年

十月七日(金)、香川県警察本部による非行防止教室を行いました。非行の意味とその問題点や恐ろしさを動画を交えてわかりやすく語ってくださいました。そのため、子どもたちは自分のこととして、真剣に考えることができました。

特に、ある事例についてグループで話し合った時は、意見を交わしていく中で、「見つからなくても絶対にダメ!」「いろいろな人に迷惑をかける」「嫌な思いが残る」等、先のことまで考えた意見が出ていたことに感心しました。また、実際に万引きに誘われた場面を想定し、どう対応するかを考える活動も行いました。子どもたちは、頭で駄目と分かっているにもかかわらず、強い意志が必要なことを実感しました。

加えて「非行防止」には保護者・地域・学校の協力の重要性も教えていただきました。

今回、子どもたちが学んだ「万引きは絶対にダメ!」という強い意志を更に強固なものにするために私たちは声をかけ、見守り続けなければなりません。



## 11月の主な行事



- 2日(水) 全校朝会
- 3日(木) 陸上県大会(6年)
- 4日(金) 香川県シェイクアウト
- 5日(土) 陸上県大会(5年)
- 9日(水) 研究会のため4時間授業
- 13日(日) さぬきっ子陸上競技大会
- 16日(水) 心の朝会、集団下校
- 17日(木)・18(金) 社会科リエンテリング
- 19日(土) 市読書フェスティバル
- 22日(火) 校内音読カフ
- 24日(木) クラブ活動
- 30日(水) なかよし集会

## 学習状況調査のお知らせ

今年度も、香川県内の児童・生徒の学習内容の定着度を調査すること、また、その結果を受けて教員の指導方法の改善や補充的な指導に活用することなどを目的に、3年生以上を対象とした「学習状況調査」を実施します。

- 11月1日(火) 2・3校時 5年生:国語・理科  
6年生:算数・理科
- 2日(水) 2・3・4校時 3・4年生:国語・算数・質問紙  
5年生:算数・社会・質問紙
- 2校時 6年生:国語
- 11日(金) 2・3校時 6年生:社会・質問紙



### 切り取り線

《学校の取り組みに対する御意見・御要望 11月》

※無記名でも結構です。

第( )学年 児童氏名( )

よく思う

そう思わない

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 楽しく学校に行けていますか。  | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 2 | 家庭学習にしっかり取り組んでいますか。   | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 3 | 友達関係は良好ですか。   | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 4 | 生活習慣・学習習慣について、よくなったことやがんばっていること、気がかりなことがあればお書き下さい。また、学校やサポート隊への御意見・御要望があればお書き下さい。 |   |   |   |   |   |   |   |

(※切り取り線で切り取り、お子さまを通じて11月7日(月)までに担任まで御提出願います。)

大切にしたい言葉

日本ハムの劇的な逆転優勝で幕を閉じた今年の日本シリーズ。負けはしましたが最後まで戦い抜いた広島カープ。その広島が精神的な大黒柱になっていたのが黒田博樹投手です。彼の言葉の中に次のようなものがあります。

メジャーのボールには自分の生活がかかっているんです。そう思えば、滑るという発想は出てきません。メジャーのボールはこれっていいわね。これしかないんですから。

自分の置かれた環境が思いもよらぬ厳しいものであっても、言い訳をせず、その状況の中で精一杯努力することを教えてくれる言葉です。そして、その努力は、自分自身のためになるということも私たちに伝えてくれています。また、彼はこのような言葉も残しています。

しんどいことでも、それを乗り越えられればそれが先になんかあるということがある。だから、きつかった経験をネガティブに捉えるのはもうやめようと思えるようになりましょう。

自分に負けずに本気で取り組んだ黒田投手。日米通算二百三勝は、心の強さとたゆまぬ努力の賜物かと思えます。子どもたちを励ます言葉の中に、黒田投手の話を加えてみたいものです。

頑張る子どもたち

◎ 欠席ゼロ100日達成（4月からの欠席ゼロの日が100日をこえたクラス）  
6年1組 6年2組



◎ 学年チャレンジ達成  
4年生 「だまってそうじをしよう」  
5年生 「食器を割らない」  
6年生 「水筒を忘れずに持って帰る」

◎ 百人一首大会  
○ 1年生の部優勝 1年2組      ○ 2年生の部優勝 2年1組

◎ 百人一首スピード名人  
1年 赤星 怜英

◎ 農業共済書写コンクール  
佳作 2年 河田 暁良  
久保田麻友  
4年 中村 翔真  
西山 孝輝  
5年 浅野 光輝

◎ 下水道いろいろコンクール  
ポスター出品 6年 小前 勇斗